

2015年10月30日

2014年度 学校関係者評価報告書

学校法人織田学園
理事長 鈴木 貴子

学校法人織田学園の学校関係者評価委員会は、2014年度（平成26年度）自己点検評価報告書を基に学校関係者評価を実施いたしましたので、ここにご報告いたします。

学園が選任した教育関係者、関係業界、卒業生等の関係者にお話し、学校自らが実施した自己点検評価報告書について評価提言することを目的とし、ホームページ等においても公表致します。

学園といたしましては、学校関係者評価の結果を踏まえて、教育の質の向上、学校運営の強化に取り組んでいく所存です。

I. 学校関係者評価委員会の構成

1. 委員

柿崎広幸（高等学校教員）
辻 庸介（辻洋装店 代表取締役）
十時 亨（株式会社アーテ・クル 代表取締役、卒業生）
野中雅之（マイフィールド株式会社 代表取締役、卒業生）
中川重敏（株式会社ニッコクトラスト 部長、卒業生）
小浦美幸（株式会社高島屋、卒業生）
山中 学（株式会社中野サンプラザ、卒業生）
松本愛美（卒業生）

2. 事務局

宮原一敏（学校法人織田学園 理事・管理本部長）

II. 実施方法

年度末に実施した自己点検評価に基づく「自己点検評価報告書」を検討資料とし、実際に学内を視察していただいた上、ご意見を伺い、評価ご検討いただきました。主な意見をこの報告書としてとりまとめます。この結果は、今後の教育活動の改善にいかし、学園全体の水準向上に努めてまいります。

Ⅲ. 学校関係者評価、意見の内容

1. 教育理念・目標

- (1) 物づくりの現場は、ここ20年で大きく変革してきた。学校もしっかりしたポリシーを持って対応すべきと感じる。
- (2) 他校の卒業生と比較して劣ることはなく、一貫した教育姿勢に好感が持てる。
- (3) 分かり易い教育理念が学内に掲示されていて、創設者の意気を今に感じることができる。
- (4) 卒業生にこの学校を選んだ理由を聞くと「アットホームな雰囲気が気に入った」と答えるケースが多い。結構なことだが、物足りなさも感じる。

2. 学校運営

- (1) 変化の大きい今だからこそ、30年先、50年先を考えて運営していただきたい。

3. 教育活動

- (1) カリキュラム及び授業内容について、毎年改善されていることは評価できる。これからも実業界の動きを取り入れて改善を続けていただきたい。
- (2) 先生方の話を聞いて、熱い思いが伝わってくる。経営陣もこれに応じて教育の向上を目指していただきたい。
- (3) 本当の技術が必要な仕事と、単純な“ワーク”に分かれる傾向にあり、これが格差を招いている。この差は、今後更に拡大する可能性が大きい。このことを踏まえて教育内容の充実を求める。
- (4) 「楽をして稼ぎたい」と考える若者が増えているように思う。何年もかけて習得できる技術もあり、これが本人の真の財産となっていく。そのことを専門学校の学生には理解してもらいたい。

4. 学修成果

- (1) 同じ職場で他校の卒業生と比較することができる。この学校の卒業生は見劣りせず、むしろ優れていて粘り強いことが多い。自信を持って、よき伝統としてもらいたい。
- (2) 授業内容を毎年検討しているようで、最近のトレンドについても学習していることが分かる。
- (3) 国際的なイベントに参加した際に、ベトナムやスペインからのボランティア学生が活躍していたが、日本人学生は指示待ちタイプが多かった。これは、学校だけでなく、家庭教育も大切な要因かもしれませんが。

5. 学生支援

- (1) 在学中は様々な対応が為されているが、(心身の)弱い学生については、卒業後も引き続きサポートしていただきたい。
- (2) OB(卒業生)を大切に、ネットワークを作ってそのパワーを生かしてもらいたい。

6. 教育環境

- (1) よく手入れされているようだが、古い校舎もあり、「安心して学べる」環境にあることをご父母も含めてアピールすることが必要。
- (2) 若い学生に魅力ある学校である為には、もう少し斬新な雰囲気が必要と思う。
- (3) 学生が、「自分は学校に大切にされている」と思えることが重要。
- (4) 中野駅周辺は、明治、平成帝京大学の進出があり、教育の街として見直されている。

7. 学生の受入れ募集

- (1) 高校教員に対する啓蒙は、今後も必要。高校教員の専門学校に対する意識は、地域差、高校差が大きい。また、教員の進路指導に対する意識もマチマチなのが現実である。
- (2) 中野は、東西の主要駅に挟まれて(新宿—吉祥寺・立川)いるが、「中野の織田」の知名度は高い。
- (3) どの専門学校も広報募集経費の負担は少なくないようだ。効率的な活動を行っていただきたい。

8. 財務

- (1) 借り入れが無く、好ましい状況。
- (2) 教育環境の向上に対しては、適正な支出を継続していただきたい。

9. 法令の遵守

指摘事項、要望等、特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

指摘事項、要望等、特になし。

11. 国際交流

指摘事項、要望等、特になし。

以上